

災 「特設公衆電話の設置等に関する覚書」を締結 災害時の通信手段の確保へ

11月14日（火） 市役所

市は、指定避難所において被災者の通信手段の確保を図るため、西日本電信電話株式会社岐阜支店と「特設公衆電話の設置等に関する覚書」を締結しました。

この覚書は、災害時に被災者の通信手段を確保することを目的として、被災者が無料で使用することができる特設公衆電話の設置や利用などについて定めるものです。

同支店において、市の指定避難所となっている小学校など29施設に、災害時専用の電話回線を最大3回線、計57回線が配線される予定です。

この日は、同支店の徳升良弘支店長と都竹市長が覚書を署名しました。



覚書を手にする徳升支店長（左）と都竹市長

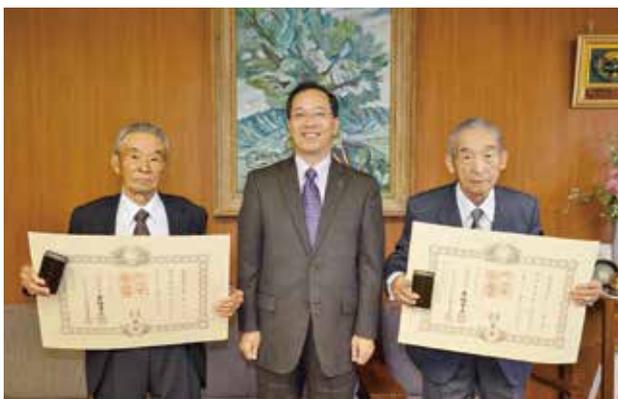
高 町村議員を長年勤められた2人に表彰 高齢者叙勲の伝達を行いました

11月15日（水） 市長室

河合町の坂ノ上重蔵さんと古川町の森瀬政夫さんが旭日単光章を受章されました。それを受け、11月15日に市長室で叙勲の伝達が行われ、都竹市長から賞状などを受け取りました。

この高齢者叙勲は春秋叙勲とは別に、国家または公共に対し功労のあった方に対し送られるもので、お二人はそれぞれ旧河合村、古川町の議会で議員として長年活躍されました。

都竹市長は「これからもお元気で、市政へのご指導をいただければと思います。本当におめでとうございます」と話していました。



賞状を手にする森瀬さん（左）と坂ノ上さん（右）ら

百 歳褒賞おめでとうございます

古川町向町の千代田要次さんが100歳を迎えられました。都竹市長からお祝いと花束を受け取りました。

千代田さんは「ここで過ごす毎日が楽しい。知らない間に百歳になっていた」と笑顔で話していました。

古川町黒内の天木シオさんが100歳を迎えられました。市民福祉部の柚原部長からお祝いと花束を受け取りました。

この日は、天木さんの家族や入所している地域密着型養護老人ホーム「あさぎり」の皆さん・スタッフ、市職員などで天木さんの百歳を祝いました。



飛 飛騨地域唯一の児童精神科診療所 飛騨市こころのクリニックが開所しました

11月6日（月） ハートピア古川

飛騨市こどものこころクリニックの開所式がハートピア古川に隣接する同所で開かれしました。関係者ら約50人が出席し、テープカットや内覧会が行われました。

同クリニックには、他病院の児童精神科で勤務されていた藤江昌智先生、藤江小百合先生に就任していただき、11月6日から診療業務を開始しています。

藤江先生は「診療所をつくる過程から密にコミュニケーションをとって進んできたので、とても良いスタートを切ることができると思う。困難なこともあるかもしれないが、いい飛騨地域を作り上げていきたい」とあいさつしました。



テープカットを行う藤江先生（左端、左から2人目）ら



飛 薬草を日々の暮らしに取り入れる 飛騨市薬草フェスティバルが行われました

11月18日(土)、19日(日) 古川町

市内に自生する貴重な薬草資源を活用したイベント「飛騨市薬草フェスティバル」が古川町市街地で開かれました。

このイベントは、薬草資源を活用し、産業振興や健康寿命の延伸などにつなげるため、市民と行政が一緒になって取り組みを行う組織「飛騨市薬草フェスティバル実行委員会」が企画しました。

イベントでは、パネルセッションや薬草の標本展示、さまざまな薬草を使ったワークショップなどが各会場で行われました。参加者は、市内に自生する薬草を活用し、日々の暮らしに取り入れるヒントを学びました。



オリジナル薬草ハーブティー作りのワークショップ

船 国道41号線の更なる安全・安心を目指す 津割石防災事業が本格スタート

11月17日(金) 旧神岡鉱山前駅

測量にあたり、中心杭(道路計画線の中心に打つ目印杭)を打つ、船津割石防災事業「中心杭打ち式」が行われ、地元住民や行政関係者などが参加しました。

高山国道事務所では、「船津割石防災事業」として防災上危険な箇所や高標高部の不安定な浮石郡の回避、雨量通行規制区間の短縮等を目的とした延長3.1キロ(トンネル部2.28キロ、橋梁部0.17キロ含む)の事業を行います。

同事務所の野津隆太所長は「地元住民をはじめ、皆様に安全に安心して通行していただけるよう事業を進めたい」と話していました。



杭打ちを行う都竹市長(左)ら

市 クアオルト健康ウォーキングの推進を図る 内2コースが「クアの道」に認定されました

11月19日(日) 古川町黒内

飛騨市クアオルト健康ウォーキングアワード「クアの道」の認定式典が、古川町黒内の黒内屋内運動場で開かれました。

「クアオルト健康ウォーキング事業」の一環で整備された「飛騨古川朝霧の森コース」と「飛騨古川森林公園コース」の整備が完成し、「クアの道」として正式に認定され、太陽生命保険(株)よりクアの道認定証の授与が行われました。

式典では、ウォーキングコースの実践指導者4人へ実践指導者認定証の授与などのほか、クアオルト健康ウォーキング体験会が行われました。



認定証を手にする田村泰朗常務取締役(右)と都竹市長

清 長年の活動に感謝と敬意を込めて 水さんが県協議会会長特別表彰を受賞

11月17日(金) 副市長室

神岡町の清水利子さんが、岐阜県民生委員児童委員協議会会長特別表彰を受賞しました。

清水さんは昭和61年から同委員を務めています。この日は、市社会福祉協議会の澤田事務局長とともに副市長室を訪れ、受賞を報告しました。

清水さんは「家族や地域の方のおかげで、民生委員をここまで続けることができた。大変なこともあったが、続けてきて良かった」と話していました。

小倉副市長は「皆さんから信頼を得て30年以上活動を続けられた清水さんに感謝と敬意を表します」と話していました。



賞状を手にする清水さん(左)と小倉副市長